

拓水

12月号

発行所

兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産改良普及協会
神戸市兵庫区新在家町123
兵庫県漁業協同組合
発行人 連合会

会長理事 山田岸松
TEL 671-6685・681-6954
一部 10円

われ如何に戦わん 漁業危機突破全国漁民大会

近年増々激化する漁場環境の悪化、海洋法海議等の国際規制の重圧、漁業用燃料油等に見られる生産資材の高騰と漁業経営は逼迫するにいたり、遂に十二月九日(火)ここ「日本武道館」で全国の同志一万人の参加者がその窮状を打開せんがため「漁業危機突破全国漁民大会」を開催するにいたった。同時に大会参集者代表により、国会並びに関係省庁への要請陳情行動がなされ全国漁民の意気をみせた。

参加者は全国津々浦々より集まり、正午すぎにはほぼ出そろった。午後一時大会は、全漁連の司会進行により開会、及川孝平委員長の「漁業者は苦難の道を行き、いまだその苦難は報われていない。国政の中で漁業の位置付けをし、漁業を根本から建ちなおさなければ、いまの窮状打開は困難である」という力強い挨拶のあった。後、議長田五名を選出、代表に浅木春雄氏(全ノリ連合会長)が選ばれ議事に入ります。まず、全漁連漁務部長より陳情報告がなされ、そ

給については、低利・長期融資の考え方を打ち出したが、またもや融資を行う手段で漁民をあやつらうと自民党は必至である。石油ショック以来だまされ続け、またやいままでの借金の借金を重ねなければならぬという窮地に追いやられ、憤懣やるかたない気持で会場内は怒号が渦巻いた。大会は後半に入り、決議案件代表意見表明に入り、次の方々によって意見表明がなされた。

- ▽千葉県 内田一三(県漁連事務)
- ▽長崎県 吉住重行(津吉漁協長)
- ▽高知県 山下幸男(鑑魚漁協長)
- ▽三重県 浜条好男(一尾漁協長)
- ▽長崎県 津田静一(奈良尾漁協長)
- ▽北海道 松田広一(虎杖浜漁協長)
- ▽北海道 飯沼常蔵(稚内漁協協長)

中でも「一ヶ所協定」に対する損害賠償をせよ」といって近年にない大きな問題点が提起された。そして、異口同音に皆がいうことであるが、上部団体を中心とする政治力の結果がこれ以上には必要とされることを通感された。この大会の主旨の通り、大会決議が即議され、満場の拍手で賛同された。その項目は、
一、漁業経営維持安定資金制度の確立
二、沿岸漁場整備開発の積極的推進
三、漁業経営維持安定資金制度の確立
四、沿岸漁場整備開発の積極的推進
○領海12海里の即時宣言を求め、決議以上この大会決議の執行方法は大会実行委員会に一任すること、
○十六時三十分刻より始まること、
○終了した。

燃料報国

余裕の出力、曳き力抜群!

●船舶主機用3.0~1800馬力●
●船舶補機用3.5~2900馬力●

ヤンマーディーゼル

船舶主機 3M15R形 (15P/1400rpm)

●詳しいカタログをお送りします(本社・重信)まで。

ヤンマーディーゼル株式会社 (本社)大阪府北区東淀町62(〒530) TEL(06)372-1111(代)
(支店)札幌・東京・名古屋・大阪・横浜・広島・福岡

本県水産界10大ニュース

昭和五十年をふりかえる

三石流出油事故

黒い帯状路南部に被害じん大
三菱石油水産製油所流出油事故は淡路南部に多大なる被害。

あいばり丸衝突事故

海上交通の安全確保と強化徹底を要望
六月十日早朝、関西汽船別府号と阪神航路の三子トン級定期客船「あいばり丸」がイカナゴ漁に向う百五十隻の漁船団に突っ込み、二隻が沈没大破、二人死亡、二人負傷。

豊かな漁場に豊漁祈願祭盛大に行われる

八月五日十三時三十分より神戸市垂水区理地地で開催され、祈願祭は栽培漁業や資源保護の啓蒙普及を図り、安心して漁業の営める豊かな漁場に漁民の祈りを込めておこなわれた。

播磨灘赤潮発生

またれる今後の赤潮対策
五月二十日播磨灘西部に発生した赤潮は被害少なく養殖ハマチ(二年もの)約四万五千尾をへい死させた。赤潮発生は昨年より早く、あまりの異常さに被害を受けた養殖業者は騒然となった。

漁船海難物故者合同慰霊祭開催

八月十九日明石市市民会館に於て県下四海区遺族参列者約四百名、一般参加者五百名のもとで漁船海難物故者合同慰霊祭を開催。三百有餘名の御霊に対し心からなる哀悼のまことを捧げた。

漁連合併を目指す兵庫県漁協等合併推進協議会開かる

協同運動として、分業の業を皆で協力し、一つの業を成しとげ、真に漁業者の奉仕機関として機能し得る組織体が高め、合理的な経営基盤を確立しよ経済団体に整備するため七月二十二日県民会館で協議会が開かれ、多忙を極める業界が一致団結し、五十年度内合併を期す。

兵庫県空港対策委員会発足

関係沿岸の各漁協(二十組合)が集り組織するもので空港建設による漁場の自然環境の破壊、汚濁、騒音等を独自で調査検討するとう主旨のものである。また漁業者が納得出来る調査がなされることと漁業対策に万全を期するよう県、国に強く要請した。

永年勤続婦人部役員表彰

十一月一日水産会館に於て、第二十回兵庫漁協婦人部大会が開かれた。漁協婦人部二十年を記念して三十三名の方が表彰された。

兵庫、徳島漁民友好訪華団中国訪問

四十九年四月十四日発生した中国船建設号沈没事件の解決を機に北京遠洋運輸船公司より、団長は兵庫県徳島漁民友好訪華団が結成され、団長は兵庫県連山田会長が推され、十一月二十八日、十二日間に亘る訪華に出発された。



山田 岸松



松井 重明

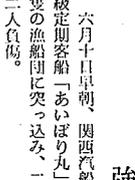


北井 りよ子

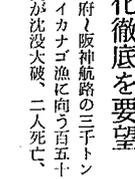
大日本水産会 水産功績者表彰式行う

本県3名受賞

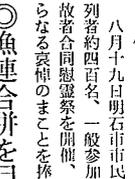
関係団体の要職にあって漁業の向上と漁協の安定に努め、イカ釣り漁業の振興に努め、イカ釣り漁業の企業化省力化等、漁業経営の安定に寄与した。また、県下水産業に寄与した。



山田 岸松



松井 重明



北井 りよ子

婦人の社会的地位向上に努め、更に県内に購買事業を導入、高校入学生済制度の創設、後継者の育成と組織の強化漁協婦人部活動に尽力した。

海上電機が皆様に贈る新製品

小型漁船からレジャーボートに友達が一人増えました
これからの海には是非お供させて下さい

フイッシュパイロット
Z-1 マークII
中型・大型も各種取揃えています

海上電機株式会社

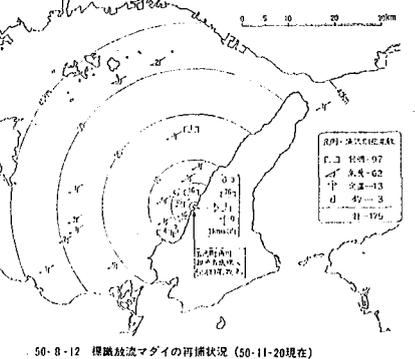
神戸市生田区明石町32 電話 391-4301

マダイ放流試験

中間報告

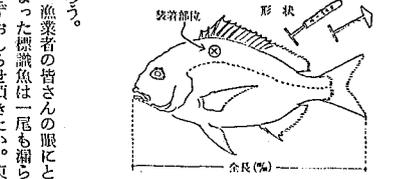
苗の中間育成技術と、放流の時期と場所或いは放流魚の追跡調査などをおこなってきた。

そしてこれは、将来の規模拡大に備えて、行政・研究・業界の三者一体になっての協力遂行の実現を見るべく、五色町および同町漁業協同組合に参画して頂くことになった。瀬戸内東部のマダイ資源の動向を探索するためにも、私達はこころは是非、淡路西浦の中間に放流したい——と考えていたからである。



想っていた程動くものではなく、住み心地がよければ八割以内が秋に留まるまでいることがわかった。

これは標識だけでなく、放流後四回にわたって、何人かの人によっておこなわれた潜水調査の観察と写真で、放流点直下の礁には第一次分も含めてウジャウジャと、その近辺の礁にも三々五々と小群を作って住みついた放流マダイを確認している。



しい中をお手数ではあるが組合事務所までお届願いたい。

最後に県および洲本農林の水産課・水試の担当者の名に於いて、五色町ならびに五色町漁業協同組合の、そして再捕報告については、関係の一言町・淡路の速くは坊務・岩屋漁協の、多勢の関係諸氏に対し今年度試験が計画どおりに進行し、予期以上の成績が挙げられたこと喜びを伝え深謝の意を表する。

もう一つは、あつちまい話ではあるが、来年は淡路北端で放流したいという私の希望が叶えられるよう、この近辺の漁業者の方達のご協力をお願いして稿を終る。

(水試・井伊)

瀬戸内海栽培マダイ放流技術開発という名称で、四ヶ年計画による内海各県の協同研究事業であるが、このほど第三年の現地作業がほぼ終了したので、現在までに判明したことについてご報告申し上げる。

当初からの経過をく簡単に復習すると、第一年は一部を福良漁協の協力を得て水試が育苗し、小豆島マダイの放流サイズはこれに充分であることが確認された。また標識をつけたものも八月十三日の第二次放流の場所とされた尾数である。こうしてマダイ仔魚種

「ひょうご漁港より」

5、6月でお知らせしたように、本年は本報前年の天候が不安定だったため、各漁場とも例年より遅く、西播地区は11月10日から20日、東播および淡路地区は11月20日から25日を中心に本報を開始しました。

ここでは、本報後に発生した病害や異常などについてお話しします。

白クサレ症 11月15日前後の連続した降雨と水温の再上昇などが要因の一つとなつたと思われる(図1)、育苗後期や本取り間もない網の葉体の脱落や異常が、西播地区の河口域などの淡水の影響の強い漁場で観察されました。その後、被害網を中心に、芽の異常形態の進行、付着球藻の増加や糸状細菌のまん延などが併発し、回復が非常に遅ま

「本年のノリ養殖(Ⅲ) 本張り初期の病害」

水試 山内 幸 児

「ひょうご漁港より」

5、6月でお知らせしたように、本年は本報前年の天候が不安定だったため、各漁場とも例年より遅く、西播地区は11月10日から20日、東播および淡路地区は11月20日から25日を中心に本報を開始しました。

ここでは、本報後に発生した病害や異常などについてお話しします。

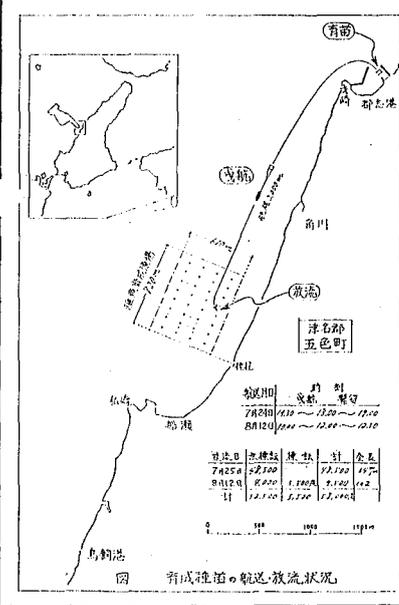
白クサレ症 11月15日前後の連続した降雨と水温の再上昇などが要因の一つとなつたと思われる(図1)、育苗後期や本取り間もない網の葉体の脱落や異常が、西播地区の河口域などの淡水の影響の強い漁場で観察されました。その後、被害網を中心に、芽の異常形態の進行、付着球藻の増加や糸状細菌のまん延などが併発し、回復が非常に遅ま

「赤クサレ病」 12月3日に赤播漁場で、赤クサレの徴候がでました。これは、よく伸びた摘採前の葉体の先端部分に、小さな赤サビ色の斑点が点在し、この部分を摘採すると、赤クサレ菌糸がノリ細胞を貫通してこの図とす。

この図から、比較的色調のよい混合の網の葉体(A)と、色落ち現象 西播地区で

「赤クサレ病」 12月3日に赤播漁場で、赤クサレの徴候がでました。これは、よく伸びた摘採前の葉体の先端部分に、小さな赤サビ色の斑点が点在し、この部分を摘採すると、赤クサレ菌糸がノリ細胞を貫通してこの図とす。

この図から、比較的色調のよい混合の網の葉体(A)と、色落ち現象 西播地区で

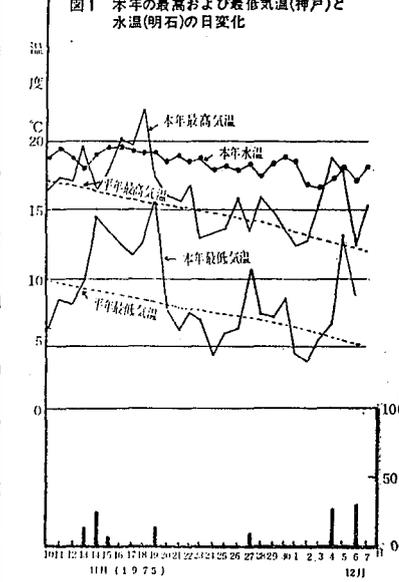
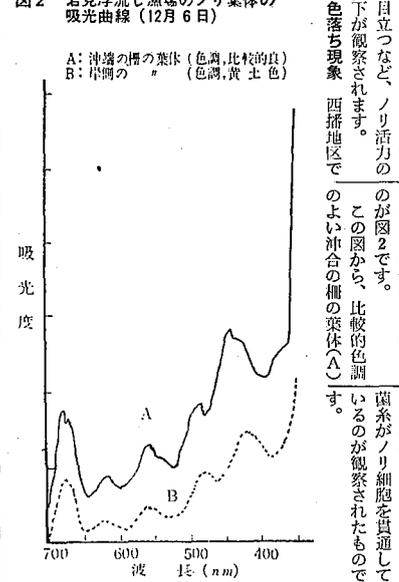


「ひょうご漁港より」

5、6月でお知らせしたように、本年は本報前年の天候が不安定だったため、各漁場とも例年より遅く、西播地区は11月10日から20日、東播および淡路地区は11月20日から25日を中心に本報を開始しました。

ここでは、本報後に発生した病害や異常などについてお話しします。

白クサレ症 11月15日前後の連続した降雨と水温の再上昇などが要因の一つとなつたと思われる(図1)、育苗後期や本取り間もない網の葉体の脱落や異常が、西播地区の河口域などの淡水の影響の強い漁場で観察されました。その後、被害網を中心に、芽の異常形態の進行、付着球藻の増加や糸状細菌のまん延などが併発し、回復が非常に遅ま



養魚の調餌と造粒は コウベヒラガのミートチッパーで

養魚用ミートチッパーNo.32からNo.72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チッパーで給餌することもできます。

(脚一報次第カタログ贈呈いたします)

ミートチッパーとプレート、ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所
神戸市長田区水笠通5番5号
TEL 代表神戸(078)621-1527

